



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカラトミー

コード番号 7867 URL www.takaratomy.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 一洋

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員連結管理本部長 (氏名) 伊藤 豪史郎 TEL 03-5654-1548

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	96,078	7.9	8,013	33.3	7,361	50.4	5,613	75.8
2023年3月期第2四半期	89,035	15.6	6,010	1.3	4,893	△17.6	3,192	△39.2

(注) 包括利益2024年3月期第2四半期 12,275百万円 (△3.6%) 2023年3月期第2四半期 12,732百万円 (129.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	61.55	61.48
2023年3月期第2四半期	34.86	34.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	174,163	97,279	55.8	1,069.06
2023年3月期	159,519	87,167	54.5	950.39

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 97,246百万円 2023年3月期 87,012百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.50	—	15.00	32.50
2024年3月期	—	17.50	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	4.1	13,500	2.9	13,000	7.9	9,000	8.2	98.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	93,616,650株	2023年3月期	94,990,850株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,652,297株	2023年3月期	3,435,898株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	91,194,003株	2023年3月期2Q	91,567,042株

(注) 当社は「役員向け株式交付信託」及び「執行役員等向け株式交付信託」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「役員向け株式交付信託」及び「執行役員等向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、1株当たり純資産の算定上、期末発行済株式総数より控除する自己株式に含めており、また、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今後の見通しにつきましては、6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

機関投資家・アナリスト向けの決算説明会につきましては、2023年11月7日にオンラインにて実施する予定です。また、同決算説明会資料につきましては、同日に当社ウェブサイトに掲載の予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(四半期連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(2024年3月期第2四半期連結累計期間におけるハイライト)

当社グループは、企業理念である「すべての「夢」の実現」に向けて、玩具事業の強化をさらに進め、強固な経営基盤を築くとともに、海外展開を推進し、真の国際優良企業 (Outstanding Global Company) への変革に取り組んでおります。また、2024年3月期においては、2022年3月期よりスタートした中期経営計画の最終年度として、経済活動や消費者の行動変化へ柔軟に対応を行い、中期経営計画の各施策達成に向かって取り組んでまいります。

なお、当社を取り巻く経営環境については、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され社会経済活動が回復するなか、世界的な地政学的リスクの高まりによる、原材料価格の高騰やインフレーション、そして為替の急激な変動など、不透明感の高い状況が依然として続きました。

## (連結業績について)

## ・売上高

定番商品においては、子どもだけでなく大人に対しても魅力ある商品の企画開発と販売強化に引き続き努めました。「プラレール」においては、これまでの子ども向けに加え、大人向けに「飾る楽しみ」と「走らせる楽しみ」を両立した「プラレール リアルクラス」の展開を6月にスタートさせました。「リカちゃん」では、1980年代に誕生し人気を集めたファッションドール「ジェニー」を「#Licca (ハッシュタグ リカ)」シリーズのフレンドドールとして8月に復活させるなど、年齢軸の拡大に努めました。

また、テレビ・WebでのIP展開として、動かして遊べる動物フィギュア「アニア」初のテレビアニメとなる『冒険大陸 アニアキングダム』を4月より開始するなど玩具とコンテンツの連動を図りました。

グループ会社では、タカラトミーアーツが展開するガチャ事業において、大型ガチャ売場の設置拡大とヒットコンテンツを使った大人向け商品の拡大等により売上が伸長いたしました。さらに、小売事業キディランドでは訪日外国人観光客を含めた人流の回復により販売が伸長するとともに、中国においては、前年第1四半期に行われていたロックダウンの反動もあり販売が復調いたしました。

以上により、売上高については96,078百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

## ・利益面

売上高の増加及び輸送費の落ち着き等による原価率の改善から売上総利益が伸長したとともに、販売費及び一般管理費における物流費の減少などから、営業利益は8,013百万円（前年同期比33.3%増）、経常利益については7,361百万円（前年同期比50.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については5,613百万円（前年同期比75.8%増）となりました。

(経営成績の概況)

<セグメント別業績の概況>

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	89,035	96,078	7,042	7.9
日本	72,575	79,881	7,306	10.1
アメリカズ	14,019	13,598	△420	△3.0
欧州	3,179	2,861	△317	△10.0
オセアニア	1,459	1,248	△210	△14.4
アジア	32,186	29,379	△2,806	△8.7
消去又は全社	△34,383	△30,891	3,491	—
営業利益又は営業損失(△)	6,010	8,013	2,003	33.3
日本	7,733	10,116	2,382	30.8
アメリカズ	△489	△459	30	—
欧州	△135	△302	△167	—
オセアニア	59	136	76	129.3
アジア	1,377	904	△473	△34.4
消去又は全社	△2,535	△2,381	154	—

<日本>

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
売上高	72,575	79,881	7,306
営業利益	7,733	10,116	2,382

定番商品においては、子どもだけでなく大人に対しても魅力ある商品の企画開発と販売強化に引き続き努めており、「プラレール」では、これまでの子ども向けの商品に加え、大人向けに「飾る楽しみ」と「走らせる楽しみ」を両立した、「プラレール リアルクラス」の展開を6月にスタートさせました。「リカちゃん」では1980年代に誕生し人気を集めたファッションドール「ジュニー」を「#Licca (ハッシュタグ リカ)」シリーズのフレンドドールとして8月に復活させるなど、年齢軸の拡大に努めました。「トランスフォーマー」においては、新作映画公開に伴い映画のキャラクターをイメージした最新デザインの関連玩具を新たに発売したものの厳しい海外玩具市場の影響などから輸出が期待値には届きませんでした。

さらに、現代版ベーゴマ「ベイブレード」の第4世代となる「BEYBLADE X (ベイブレードエックス)」では、「ベイブレードは、スポーツへ。」をテーマに7月に玩具シリーズを発売いたしました。また、大型イベントをスタートさせるとともに、1999年の初代発売から24年となる歴史とブランドの魅力から大人にも人気拡大いたしました。さらに、メタバースを活用したオンラインゲーミングプラットフォーム「Roblox」でのコンテンツ強化に向けてクリエイターコンテストを実施する等のデジタル連動を図りました。

テレビ・WebでのIP展開としては、今期発売10周年を迎えた動かして遊べる動物フィギュア「アニア」において、新たな定番商品として拡販に努めるとともに、4月よりテレビアニメ『冒険大陸 アニアキングダム』の放送を開始しました。また、「トミカ」「プラレール」「アニア」から生まれた個性豊かなキャラクターがおりなすアニメ『ゴー！ゴー！びーくるずー』ではタカラトミー公式YouTubeチャンネルに加えて、4月からテレビ放送を開始するなど、当社が保有するIPの積極展開に取り組みました。

イベント事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から開催を中止していた「トミカ博」「プラレール博」など各種イベントをゴールデンウィークより再開し好評を博しました。また、小売事業キデilandでは訪日外国人観光客を含めた人流の大幅な回復により販売が伸びました。タカラトミーアーツが展開するガチャ事業では、大型ガチャ売場の設置拡大とヒットコンテンツを使った大人向け商品の拡大等により売上が引き続き伸びました。アミューズメントマシンでは「ポケモンメザスタ」が好評を博しました。

デジタル事業においては、カードゲームアプリ「デュエルマスターズ・プレイス」が人気キャラクターとのコラボなどによりビジネスを拡大させるとともに、ロングセラー盤ゲーム「人生ゲーム」のNintendo Switch 専用ソフトを10月に発売することを発表いたしました。さらに、タカラトミーアーツでは8月よりバーチャルアイドルライブアプリ「アイドルランドプリパラ」の展開をスタートさせるなど、自社IPのデジタル展開を進めました。

9月には「おもちゃ屋が選んだクリスマスおもちゃ2023」において、タカラトミーグループでは8部門中2部門で1位を獲得したほか、2位から入賞までを含めると20アイテムがランクインするなど、高い評価を得ることができました。

以上の結果、売上高については79,881百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は10,116百万円（同30.8%増）となりました。

<アメリカズ>

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
売上高	14,019	13,598	△420
営業損失 (△)	△489	△459	30

ベビー用品の販売が好調に推移するとともに、日本においてタカラトミーアーツが展開するぬいぐるみシリーズ「もっちゃんもっちゃん、海外商品名：Club Mocchi- Mocchi-」の販売が伸びました。一方で、ファット・ブレイン・グループの販売が減少したこと等もあり、売上高は13,598百万円（前年同期比3.0%減）、営業損失は459百万円（前年同期営業損失489百万円）となりました。

## &lt;欧州&gt;

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
売上高	3,179	2,861	△317
営業損失(△)	△135	△302	△167

日本においてもロングセラー商品であるパーティーゲーム「黒ひげ危機一発、海外商品名：Pop-Up Pirate」をはじめとしたゲーム玩具等の販売が堅調に推移したものの、ベビー用品等の販売が減少したこともあり、売上高は2,861百万円（前年同期比10.0%減）、営業損失は302百万円（前年同期営業損失135百万円）となりました。

## &lt;オセアニア&gt;

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
売上高	1,459	1,248	△210
営業利益	59	136	76

農耕車両玩具の販売が堅調に推移し、ぬいぐるみ「Club Mocchi- Mocchi-」の販売が好調に推移したものの、ベビー用品等の販売が減少したこともあり、売上高は1,248百万円（前年同期比14.4%減）となりました。一方で、営業利益は輸送費の落ち着き等による原価率の改善から売上総利益が伸長したことにより136百万円（同129.3%増）となりました。

## &lt;アジア&gt;

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
売上高	32,186	29,379	△2,806
営業利益	1,377	904	△473

「トミカ」や「ポケモン」関連商品などが好調に推移したことに加え、タカラトミーアーツのアミューズメントマシン「ポケモンガオーレ」の好調が継続いたしました。また、中国においては、前年第1四半期に行われていたロックダウンの反動もあり販売が復調いたしました。さらに、台湾・香港においては日本と同時期の7月に第4世代「BEYBLADE X」の販売をスタートいたしました。

一方で、生産子会社であるTOMY (Hong Kong) Ltd. における欧米向け出荷が減少したこともあり、売上高は29,379百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は904百万円（同34.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債及び純資産の状況]

<資産>

流動資産は、前連結会計年度末に比較して13,275百万円増加し、124,940百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して1,368百万円増加し、49,223百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減少があった一方で、無形固定資産が増加したことによるものです。

<負債>

流動負債は、前連結会計年度末に比較して7,503百万円増加し、60,560百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して2,971百万円減少し、16,323百万円となりました。これは主として、繰延税金負債の増加があった一方で、長期借入金が増加したことによるものです。

<純資産>

純資産は、前連結会計年度末に比較して10,112百万円増加し、97,279百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定、利益剰余金が増加したことによるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比較して3,344百万円減少し、63,015百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,022百万円の収入（前年同四半期は2,862百万円の支出）となりました。これは主として、売上債権の増加7,570百万円等があった一方で、税金等調整前四半期純利益7,374百万円、仕入債務の増加5,845百万円等があったことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,213百万円の支出（前年同四半期は1,087百万円の支出）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出739百万円、無形固定資産の取得による支出844百万円等があったことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,005百万円の支出（前年同四半期は5,581百万円の支出）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出4,363百万円、配当金の支払額1,382百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1,418百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月9日公表のとおりであり、変更はありません。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	66,455	63,111
受取手形及び売掛金	20,905	29,411
商品及び製品	16,694	21,115
仕掛品	730	617
原材料及び貯蔵品	1,100	1,074
その他	5,972	9,827
貸倒引当金	△194	△217
流動資産合計	111,664	124,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,593	13,806
減価償却累計額	△9,357	△9,615
減損損失累計額	△910	△918
建物及び構築物 (純額)	3,325	3,272
機械装置及び運搬具	2,862	2,927
減価償却累計額	△2,335	△2,428
減損損失累計額	△35	△35
機械装置及び運搬具 (純額)	492	463
工具、器具及び備品	24,725	25,758
減価償却累計額	△22,779	△23,706
減損損失累計額	△960	△1,040
工具、器具及び備品 (純額)	985	1,011
土地	3,933	3,954
リース資産	8,746	6,645
減価償却累計額	△4,791	△3,039
減損損失累計額	△393	△431
リース資産 (純額)	3,561	3,174
使用権資産	2,916	2,913
建設仮勘定	423	496
有形固定資産合計	15,638	15,286
無形固定資産		
のれん	15,616	16,470
その他	10,114	10,996
無形固定資産合計	25,731	27,467
投資その他の資産		
投資有価証券	2,979	3,252
繰延税金資産	1,483	1,173
その他	2,033	2,060
貸倒引当金	△10	△18
投資その他の資産合計	6,485	6,469
固定資産合計	47,854	49,223
資産合計	159,519	174,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,213	15,560
短期借入金	10,043	11,898
1年内返済予定の長期借入金	8,901	7,997
リース債務	3,198	3,134
未払金	7,276	7,787
未払費用	8,058	9,217
未払法人税等	1,562	2,029
引当金	473	368
その他	4,328	2,566
流動負債合計	53,056	60,560
固定負債		
長期借入金	10,177	6,846
リース債務	3,669	3,531
繰延税金負債	431	938
再評価に係る繰延税金負債	472	472
引当金	401	365
退職給付に係る負債	2,597	2,617
その他	1,546	1,551
固定負債合計	19,295	16,323
負債合計	72,352	76,884
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	8,147	6,818
利益剰余金	60,092	64,325
自己株式	△3,587	△2,920
株主資本合計	68,112	71,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,317	1,531
繰延ヘッジ損益	680	2,612
土地再評価差額金	624	624
為替換算調整勘定	16,712	21,278
退職給付に係る調整累計額	△433	△484
その他の包括利益累計額合計	18,900	25,562
新株予約権	154	33
純資産合計	87,167	97,279
負債純資産合計	159,519	174,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	89,035	96,078
売上原価	55,033	58,024
売上総利益	34,002	38,053
販売費及び一般管理費	27,992	30,039
営業利益	6,010	8,013
営業外収益		
受取利息及び配当金	66	230
受取賃貸料	76	59
その他	109	111
営業外収益合計	252	401
営業外費用		
支払利息	238	488
為替差損	967	357
その他	162	207
営業外費用合計	1,368	1,053
経常利益	4,893	7,361
特別利益		
固定資産売却益	0	4
新株予約権戻入益	54	16
特別利益合計	55	20
特別損失		
固定資産売却損	2	3
固定資産除却損	0	3
減損損失	1	0
新型コロナウイルス感染症による損失	33	—
特別損失合計	37	7
税金等調整前四半期純利益	4,911	7,374
法人税等	1,718	1,761
四半期純利益	3,192	5,613
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,192	5,613

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,192	5,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	214
繰延ヘッジ損益	1,688	1,932
為替換算調整勘定	7,973	4,566
退職給付に係る調整額	△45	△50
その他の包括利益合計	9,540	6,662
四半期包括利益	12,732	12,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,732	12,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,911	7,374
減価償却費	3,063	3,169
固定資産除却損	0	3
減損損失	1	0
のれん償却額	916	964
新株予約権戻入益	△54	△16
新型コロナウイルス感染症による損失	33	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23	10
引当金の増減額 (△は減少)	△127	△132
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16	14
受取利息及び受取配当金	△66	△230
支払利息	238	488
為替差損益 (△は益)	1,586	666
固定資産売却損益 (△は益)	2	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,884	△7,570
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,764	△3,098
前払費用の増減額 (△は増加)	△743	211
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,448	5,845
未払金の増減額 (△は減少)	△747	437
未払費用の増減額 (△は減少)	168	705
その他	△92	△2,252
小計	△104	6,590
利息及び配当金の受取額	65	231
利息の支払額	△215	△466
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△32	—
法人税等の支払額	△2,575	△1,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,862	5,022
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△677	△739
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△564	△844
子会社株式の条件付取得対価の支払額	—	△677
その他	154	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,087	△2,213
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,140	971
長期借入金の返済による支出	△4,363	△4,363
配当金の支払額	△2,073	△1,382
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,464	△1,418
自己株式の処分による収入	296	413
自己株式の取得による支出	△168	△1,265
セール・アンド・リースバックによる収入	141	133
その他	△90	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,581	△7,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,074	851
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,456	△3,344
現金及び現金同等物の期首残高	65,310	66,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,853	63,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス感染症による損失

前第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中国上海市におけるロックダウンを受け事業活動停止期間中に発生した固定費（人件費・減価償却費）等を計上しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	64,554	13,869	3,179	1,459	5,973	89,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,020	149	—	—	26,213	34,383
計	72,575	14,019	3,179	1,459	32,186	123,419
セグメント利益又は損失 (△)	7,733	△489	△135	59	1,377	8,545

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,545
セグメント間取引消去	△786
全社費用 (注)	△1,749
四半期連結損益計算書の営業利益	6,010

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	71,775	13,577	2,846	1,248	6,630	96,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,106	20	15	—	22,748	30,891
計	79,881	13,598	2,861	1,248	29,379	126,970
セグメント利益又は損失 (△)	10,116	△459	△302	136	904	10,395

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,395
セグメント間取引消去	△183
全社費用 (注)	△2,198
四半期連結損益計算書の営業利益	8,013

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。